

学校名	八坂中学校		
ホームページURL	生徒数 46名		
(1) テーマ  「八坂村の川の環境調査」  テーマの分類 (      ウ      ) 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に      をつけてください  学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他 ( 全校縦割りの中の 1グループの活動 ) 該当学年      年 ( 回答可能な場合 )		
(3) 活動のねらい ・村内各地を分担して水質調査を行い、金熊川と流入する沢の環境の今と今後について考える。			
(4) 活動の実際 ( 活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等 ) 活動内容 ・村内の水系図作成 ・水質調査 ( パックテスト、酢酸鉛試験紙、生物指標の利用等 ) ・まとめと考察 学習方法および学習形態 ・グループ内で調査方法の実習を行ったあと、各自の調査ポイントに出向いて調査活動を行う。 ・持ち寄ったデータを協力してまとめ、考察を加える。 学習環境 ・村内への調査活動のための移動手段の確保のためにスクールバスなどの支援を村から受ける。 ・調査活動のまとめのためのコンピュータの活用 ・調査地域の環境をデジタル化するためにデジカメの利用。 ・実験の材料の準備、支援等。  時数 (    36    )			
(5) 指導体制 ( 校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等 ) 校内体制 ・全職員による指導体制の中での活動。全校生徒の活動状況を常に把握できるように一覧化。 地域人材の活用 ・村の有識者への支援依頼、教育委員会との連絡体制の確立、村の文化ステーションの活用等。 安全面での配慮等 ・スクールバス、村の公用車で村内取材。			
(6) 指導上の留意点 ( 時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等 ) 時間数の取り扱い ・授業時数の中での活動を主体とし、不足の部分は放課後、休日の時間を充てた。 各教科との連携 ・今年度は特になし。 家庭、地域との連携等 ・中間発表会を行い、村内に公開した。 ・文化祭での本発表を村内に公開した。 ・公開の都度、感想を頂き、活動に生かした。 ・A建設事務所からの情報提供、取材活動への協力。			

(7) 評価（基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際）

基本的な考え方

- ・生徒の主體的な活動を目指し、活動の経過・活動の様子などをプラス思考にて評価できるようにする。

評価の内容及び方法

- ・調査活動の記録、まとめや発表の内容などをノートやパソコンのデータとして蓄積し、評価していく。（ポートフォリオの利用）

評価の実際

- ・個々への言葉がけ、通知票への文章記述を通して、生徒に返るようにする。

(8) 成果と課題

村内の方々の協力のおかげで、アンケートや聞き取り調査で情報が集まり、生徒の思考が深まった。

教育委員会、村文化センターなどの協力のおかげで、研究・調査活動が深まった。

A 設事務所の協力を得ることができ、生徒の追究意欲が高まった。

調査を進める中で、より専門的で詳しい知識が必要となった。教師ができる限り補ったが、より広域のネットワークが利用できるようになるとよい。

テーマの分類 横断的・総合的な課題（  
ーア 国際理解 ーイ 情報 ーウ 環境  
ーエ 福祉・健康 ーオ その他） 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題